

令和

新年あいさつ

吹田市議会議長
吉瀬 武司



新年明けましておめでとうございます。
市民のみなさんにおかれましては、よき新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

さて、本年4月に本市は中核市に移行します。市の事務権限が強化され、これまで大阪府が行ってきた保健所業務などを市が担うことになり、市民のみなさんの命と暮らしを支える施策が、より身近なところで推進されていくことになります。

さらに、本年は市制施行80周年を迎える年でもあります。多くの先人方のご尽力に改めて深く敬意を表するとともに、本市の未来が輝かしく希望に満ちたものとなるよう、現在を担う私たちの責務の重さに身が引き締まる思いを致しております。

そのような中、昨年、市議会では防災・減災等対策特別委員会を新たに設置しました。近年、本市が被災した自然災害などへの対応を検証するとともに、初動態勢の在り方などについて検討を重ねています。

市議会では、市民のみなさんが安心・安全に、また、健やかに暮らせるまちづくりに向け、今後とも活発な議論を重ね、慎重かつ的確な判断をしまっている所存であります。引き続きみなさんのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年がみなさんにとりまして、ご健勝にて幸多き一年となりますよう心から祈念申し上げまして、年頭にあたりましてのごあいさつとさせていただきます。

吹田市長
後藤 圭二



明けましておめでとうございます。
みなさんが、健やかに新年を迎えられたことを心よりお喜び申し上げます。

昨年は、本市出身のお二人が日本中を沸かせてくださいました。吉野彰さんがノーベル化学賞を受賞し、堀江翔太さんがラグビーワールドカップ日本代表として大活躍されました。お二人とも吹田での体験が原点となり、実を結ばれたことを大変喜ばしく、そして誇らしく思います。今後も本市は、市民のみなさんにとって豊かな学びや体験ができる、魅力あるまちづくりを引き続き進めてまいります。

さて、本年は市制施行80周年という記念すべき年であり、同時に「中核市吹田」として本市の歴史に新たな1ページを刻みます。中核市となることを機に、新たな権限を最大限に活用し、特に医療や保健衛生分野で、よりきめ細かで高度なサービスを展開してまいります。また、市民のみなさんの健康寿命の延伸をはじめとした、誰もが安心して暮らすことのできるまちを実現します。

今後も、先人の方々が築き守ってきた本市の素晴らしさを、次の世代に引き継ぎ、来るべき90周年、100周年に向かって大きく飛躍できるよう、まちの愛着や誇りを一層深め、それらを未来へと引き継ぐための取り組みを進めてまいります。

みなさんにとって本年が幸多き一年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

